

あなたと市議会



「願いを込めて」 横手明峰中学校美術部3年 佐野 美羽^{みう}さん

主な内容

| | |
|-----------------|---------------|
| 9月定例会ピックアップ…… 2 | 令和3年度決算審査…… 4 |
| 委員会審査報告…… 8 | 一般質問…… 10 |
| ぎかいトピックス…… 16 | |

作品のこだわりポイント!

私たちはコロナ禍で2年以上も過ごしてきましたが、早く収束して元の生活に戻れるよう願っています。また、戦争は今すぐやめて、みんなの命を大切にしてほしいと思います。

賛否が分かれた議案と審議結果

この他の議案は全員賛成により可決されました。○：賛成 ●：反対 欠：欠席
※1 寿松木孝議長は採決に加わりません。 ※2 青山豊議員は監査委員です。

| 会派・議員名 | 案件名 | 議決結果 | | | |
|--------|-------|------|----|----|------|
| | | 議決結果 | 認定 | 認定 | 原案可決 |
| 表決数 | 賛成 | 19 | 23 | 23 | 18 |
| | 反対 | 4 | 0 | 1 | 6 |
| 市民の会 | 宮川 拓也 | ○ | ○ | ● | ○ |
| | 福田 誠 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 山形 健二 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 大日向香輝 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 菅原 正志 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 齋藤 光司 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 |
| | 菅原 恵悦 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| さきがけ | 青山 豊 | ※2 | ※2 | ○ | ● |
| | 佐藤 誠洋 | ● | ○ | ○ | ● |
| | 寿松木 孝 | ※1 | ※1 | ※1 | ※1 |
| | 播磨 博一 | ○ | ○ | ○ | ● |
| | 塩田 勉 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 新政会 | 高橋 聖悟 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 柴田 忍 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 佐藤 忠久 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 小野 正伸 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 高橋 和樹 | ○ | ○ | ○ | ● |
| 創成の会 | 林 一輝 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 本間 利博 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 加藤 勝義 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 日本共産党 | 鈴木 勝雄 | ● | ○ | ○ | ● |
| | 立身万千子 | ● | ○ | ○ | ● |
| 公明党 | 土田百合子 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 井上 忠征 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 新風の会 | 木村 清貴 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 実横会 | 加藤 雄太 | ○ | ○ | ○ | ○ |

7月臨時会の概要

新型コロナウイルス感染リスクを低減しつつ、キャッシュレス決済の促進を目的にポイント還元キャンペーンを実施するための経費や、新型コロナウイルス拡大の影響を受けた市内宿泊施設への支援および宿泊客獲得に寄与するため、登録施設に宿泊した方に宿泊費の一部を助成するための経費などの令和4年度一般会計補正予算について審査し、可決しました。
また、藤本和宏氏を再任しようとする副市長の選任案件について同意しました。

議案PickUp

Y²ふらざ北側に立体駐車場を設置 横手市横手駅東口市営駐車場設置条例

横手市横手駅東口市営駐車場は24時間利用可能となります。また、利用料金は2時間（お子さん*と一緒にご利用される方は3時間）まで無料、その後は1時間100円（上限1000円/24時間）となります。

*18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者



コンビニなどでの証明書交付手数料を減額 横手市手数料条例の一部改正

マイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストアなどで住民票の写しや戸籍証明などの自動交付サービスを利用する際の手数料を減額します。

| 証明書の種類 | 手数料 |
|----------|-----------|
| 住民票の写し | 200円⇒120円 |
| 課税証明 | |
| 印鑑登録証明 | |
| 戸籍の附票の写し | 450円⇒270円 |
| 戸籍証明 | |

人権擁護委員候補者を推薦

- 七尾 喜美代 氏 (横手・再任)
- 高橋 純一 氏 (十文字・再任)
- 狩野 和枝 氏 (雄物川・再任)
- 戸田 富紀子 氏 (横手・再任)
- 鈴木 るみ子 氏 (横手・再任)
- 越後谷 綾子 氏 (横手・再任)
- 鈴木 長悦 氏 (大雄・再任)

陳情の審査結果

採 択

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情 (連合秋田横手湯沢地域協議会 議長 齊藤 齊氏)

◆決議の内容(要約)

- 行政の基盤を維持するための最低限の予算、体制の確保を!
- 生活インフラ整備は独立した事業に!

全会一致で可決!

決議の全文はこちらからご確認ください。

本会議最終日、産業建設常任委員会に所属する議員全員から、生活基盤道路の整備に関し、重点的な予算の配分と体制の確保を求める「市民の最低限の生活を守るためのインフラ整備を求める決議案」が提出され、全会一致で可決しました。

行政の基盤を維持するため最低限の予算、体制の確保を

Point! のは生活インフラ整備加速化事業終了後の約束への対応が不十分

令和元年度までの3年間、年間2億円の予算で、インフラ整備に特化した「生活インフラ整備加速化事業」が実施され、市民からも大変喜ばれていました。
令和元年度に産業建設常任委員会で行った所管事務調査では、地域に密着したインフラを維持して市民生活を守るには、最低でも年間2億円の予算が必要だと報告されています。
そのため、議事では生活インフラ整備加速化事業の継続を求めましたが、令和元年度でこの事業が終了となり、その際、市

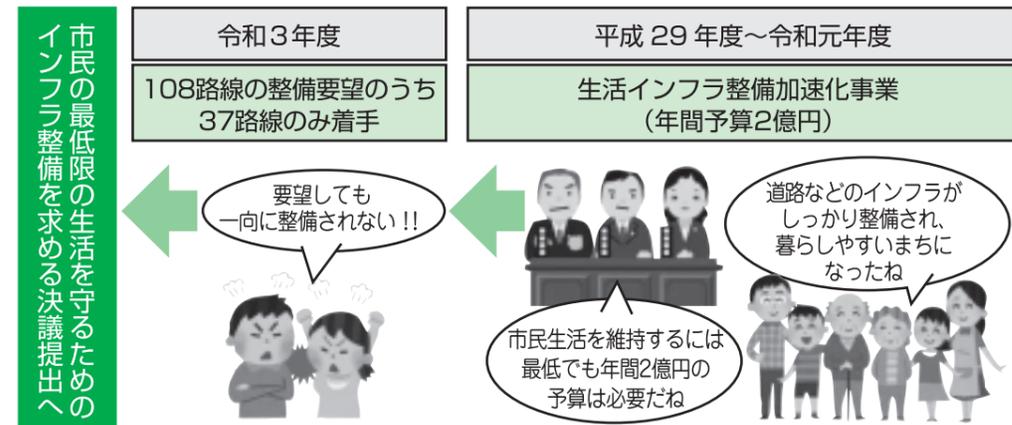


整備・修復されずにいる箇所が随所に



決議文を即日市長に手渡しました

らは事業終了後も変わらない対応をするとの約束のもと、議会ではこれを了承しました。
しかし、事業終了後、各地域からのインフラ整備の要望に対応したものはあまりにも少なく、議会との約束が守られているとは言い難い状況が続いています。このままでは行政基盤の維持も困難となってしまうことが危惧されるため、最低限の生活を守るためのインフラ整備を求めることを決議しました。



市民の最低限の生活を守るためのインフラ整備を求める決議案可決

9月定例会は、8月29日から9月22日までの日程で開催されました。議案審査などの中から、特に注目する内容について取り上げます。



健康・福祉・環境

介護職員の人員不足に対し増員の検討は

人員不足に加え、コロナ禍で一部の職員に大きな負担がかかっていると思う。増員できる方法を検討して欲しいがどうか。

答 介護職員の増員が難しい状況が続いている。介護保険法上の人員基準は満たしているが厳しい状況にある。現状では難しいが、コロナの感染拡大が落ち着いたら施設での実習や見学などを率先して受け入れ、職員採用試験の申し込み増加につなげていきたい。



介護職員の負担軽減のために増員などの対策が急務

雪下ろし支援事業の課題は

制度変更後、雪下ろし作業請負業者などが4倍程度に増えたことは良かったが、作業金額などに対して、苦情や相談はなかったのか。

答 作業金額の相場に関する問い合わせはあったが、状況により作業内容が変わるため相場がないことや、作業内容をよく確認して納得した上で依頼してほしい旨の説明を行った。契約する際の注意喚起や相談先もお知らせしており、深刻なトラブルはなかった。



雪下ろしの担い手不足を解消し持続可能な仕組みへ

衛生センター統合への見通しは

し尿および浄化槽汚泥は横手衛生センター、雄物川衛生センターの2ヵ所で処理しているが、今後の統合を視野に入れているのか。

答 雄物川衛生センターに関しては、今後5年は稼働できる整備方針に変え、できるだけ予算をかけずに進めている。横手衛生センターに関しては、長寿命化を図るための整備計画を立て、最終的には統合を視野に入れて進めることとしている。

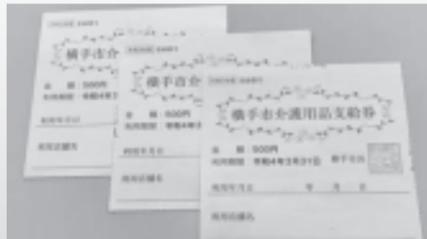


横手衛生センターへの統合を視野に

介護用品支給支援のさらなる拡充は

介護用品支給券支給事業の不用額をどのように捉えているか。対象者拡充以外にも市独自にさらなる支援を検討するのか。

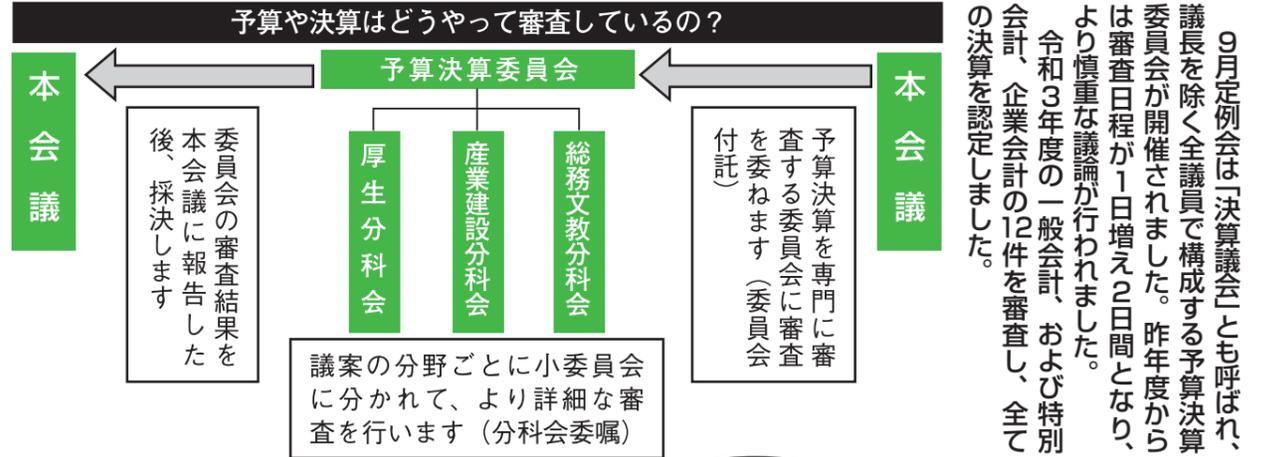
答 令和3年度は対象者拡充前の制度だったため不用額が出ているが、令和4年度においては前期での利用者が4割増となっている。今後は、第9期介護保険事業計画策定作業の中で事業の効果検証をしながら、支援を拡充するかどうかを考えていきたい。



介護用オムツなどの購入に利用できる支給券



令和3年度一般会計の決算は賛否が分かれるも認定される



しらとり議員が解説します！

総括質疑は、予算決算委員会において市長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。9月定例会では前年度の決算について、3月定例会では次年度の予算について、総合的な内容を質問します。議員1人の質問時間は一般質問より短く、30分以内です。

ちょっと教えて！
総括質疑ってなあに？

道路整備の財源や整備についての方策は

高橋 聖悟 委員

問 近年の道路資産の状況は、老朽化率や更新額と、投資額が乖離している。道路インフラ整備の不足財源を確保し、整備を押し進めべきだと考えるがどうか。

答 道路の舗装補修については、より効果的な補修方法を選定しながら、交付金や起債を活用して実施している。今後も有利な財源を採り、効率的な補修に努める。

大雪時の通行止めについて今後の対策は

宮川 拓也 委員

問 道路除雪費用について、昨年大雪に見まわれ、補正予算が組まれた。その中でも除雪ができず、一部の道路で通行止めが生じたことについて、経緯と今後の対策は。

答 雪崩などの発生が危惧される箇所については、周囲の状況を総合的に判断して通行止めとした。今後とも国や県なども連携を図りながら、適切な判断に努めていく。

ふるさと納税に「ふるさと」の負担軽減の現状は

菅原 正志 委員

問 近年の実績が思わしくなく、返礼品の開発や調達が重要と考える。期限を定めて、ふるさと納税に特化した体制を作り、いずれは民間移行するという考えはないか。

答 今年度から部局連携をさらに強化し、寄附額の増加につなげるべくふるさと納税推進プロジェクトチームを結成した。まずはこのチームで成果を上げていきたい。

「横手市財政計画」から検証すべき決算の課題は

立身 万千子 委員

問 現在は、FM計画（財産経営推進計画）の中期基本計画として、多機能化、統合・複合も進めるといふ計画である。このうち長寿命化施設の方向性は。

答 長寿命化施設は、今後も当市にとって必要な施設と位置付けている。定期点検などを行いながら、適切な公共施設の管理、運営に努めていく。

総務・財政・教育・生涯学習・消防

地区交流センターの 今後の事業費の在り方は

予算が2本立てのようなイメージがあり分かりづらいが、今後、事業費の在り方を見直す予定はあるか。

答弁 各地区の人口に応じた事業委託費の予算内で事業を計画しているが、必要な場合は地域づくり活動補助金の活用を促している。事業費については今後見直していく予定であり、将来的には委託料ではなく、より自由度の高い交付金という形を検討している。



地区交流センター事業のひとつ
館合の夏祭り

物価高騰による 学校給食への影響は

学校給食においても物価高騰の影響が生じているが、給食費負担金について今後どのように考えているか。

答弁 給食費については、学校給食法に基づき、保護者に負担していただくことを前提に考えている。しかし、給食食材以外の物価も高騰しているため、保護者に負担を求めるとも含め、状況を分析して今後の対応を検討していきたい。

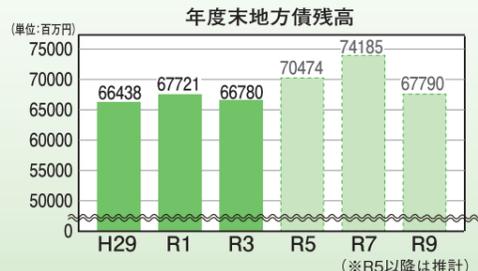


地産地消・食育を支える給食にも
物価高騰の波が

今後の起債発行と 財政見通しは

人口減少で起債残高は抑えられるが、逆に市民1人当たりの残高は大きくなる。物価高騰により予算編成が厳しくなるのでは。

答弁 起債残高は普通会計ベースの667億8000万円。残高のピークは令和7年度と想定。人口減少により1人当たりの起債残高は増えていくが、その先は減少する見込み。社会情勢の変化が財政需要に影響を及ぼすことも想定し、毎年度財政見直しを見直していく。



起債残高のピークは令和7年度の見込み

小中学校へ設置した エアコンの維持費は

地方創生臨時交付金事業などを活用し小中学校普通教室にエアコンを設置したが、維持費はどうなっているか。

答弁 光熱費は令和2年度と比べて電気料金が約1600万円増加、ガス料金は約290万円で、年間約1900万円のかかり増しとなった。一方、暖房として利用したことで、灯油代が約150万円減少した。今年度以降は保守料金がかかる予定である。



普通教室に設置されたエアコン
暑い日にも学校生活が快適に

農商工業・観光・土木・建築・上下水道

道路補修などの要望数と 実施の現状は

道路補修などについては、市民要望が高いと思うが、令和3年度はどのくらい要望があり、どのくらい着手できたのか。

答弁 令和3年度は、2年度以前からの継続分も合わせて108路線について要望があり、うち37路線に着手した。交付金や起債の要件を満たさない路線については、市の一般財源で対応することになるが、地域要望の優先順位に基づいて実施している。



道路補修の市民要望度は高い

大雪被害の状況と 復興への支援は

令和2年度の大雪被害の総額と支援の金額はどのくらいか。継続した支援が必要だと考えるかどうか。

答弁 被害総額は45億4136万円で、内訳は果樹が25億円、施設が20億円、農作物が2300万円であった。復旧に要した事業の総額は14億9600万円であり、支援額は6億6800万円。果樹の樹体被害が特に大きく、今後も引き続き支援していく。



果樹被害などへ、引き続き支援が必要

有収率改善のための 漏水調査は

今後の水道事業会計を考えると、まずは有収率を上げることが第一だと考える。税金投入と漏水調査を進めることへの市の考えは

答弁 税金投入については今後協議したい。有収率を上げるために漏水調査を行っているが、漏水箇所は本管だけでなく個人の給水管の場合もある。また極端に有収率が低いところは漏水以外の原因も調査し、時間がかかっても原因究明を進めていく。



適切な水道管更新には
漏水調査が不可欠

企業立地が進む中 人材確保への取り組みは

新規高卒者の県内就職希望者率が伸びている理由は。また大卒者が地域に戻ってくるような手立ちは検討しているか。

答弁 従来の取り組みに加え、高校の就職担当の先生を対象に企業見学会なども行っており、成果が出始めていると考える。また、大卒などスキルのある社員を必要とする企業立地も進んでおり、県内の学校を訪問して市内企業に目を向けてもらえるように取り組む。



企業説明会実施などにより希望者が
地元に残れる・戻れる選択肢を

厚生常任委員会

手数料引き下げでマイナンバーカードは普及できるのか？

◆コンビニなどでの証明書発行手数料を引き下げための条例改正
問 今回の手数料の減額について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したキャンペーン的な意味合いで実施するのであれば、終了期限を明確にするべきではないか。他市では期間限定で実施をされていることが見やすい表で表示されている例もある。期限が分かれば、手数料が元に戻った場合でも住民に納得いただけると思うがどうか。
答 今後、料金体系を見直すこと



早くて簡単！
コンビニで簡単、おトクに証明書発行

を前提に考えており、キャンペーン終了後に手数料を元に戻す考えはない。交付金の活用が終わっても手数料を改定するまでの間はキャンペーン的なものを継続し、手数料を変えないようにするつもりだが、いずれ改定をすることを前提に、改定の時期やどのような料金体系にするのがよいかを早めに協議し、見直しを行いたい。

問 マイナンバーカード利用促進のために交付金を活用し積極的に取り組むよう国の通知を受けても県内他市町村が実施していないのは何か理由があると思う。今後の方向性が決まらない中で、どうしても今決めなければならぬのか。
答 マイナンバーカードの交付率については、努力しているが、全国平均、県平均を下回っている現状にある。この状況の中、国の通知を受けても実施を検討しないということはあり得ず、取り得る手段は取っていくべきと判断した。

討論

反対 「令和6年に交付金の活用が終了した後の方向性が見えず、その中には手数料を上げるとい

考えが含まれている。このような方法で財源を確保することは市全体の利益にならない。方向性をきちんと検討した後で再提案してほしいため、反対する」

賛成 「コンビニ交付と窓口の料金に差が出たとしても、現時点で手数料の安さを考えると、後々の手数料改正もある程度妥当なものになっていくと思う。今後のマイナンバーカードの普及に期待して賛成する」

賛成 「終了期限が設定されていないなどの懸念点はあるが、手数料の額を下げることは悪いことではないと思う。この条例改正をすることでコンビニでの交付数に影響があったのを見えてくると思う。そこを検証した上で、今後の手数料見直しの議論に生かせるのであれば、この条例改正を行うべきと考え賛成する」

可 起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決定した。

Table with 2 columns: 厚生常任委員 (Members) and 賛成 (Supporters). Members listed include 土山、山形、柴田、宮川、林、立身、青山、佐藤. Supporters listed include 百合子、健二、忍也、拓也、一輝、千子、豊久、忠久.

総務文教常任委員会

Y²ぷらざ北側立体駐車場の利用時間・料金はどのようになるのか？

◆横手市横手駅東口市営駐車場の置条例
問 料金の減免や回数券の仕組みはどのようになっているのか。
答 精算機を設置し駐車券を発行する。2時間まで無料だが、Y²ぷらざおよび新公益施設利用者のうち、18歳に達する日以後の最初の3月31日の間にある方を同伴している方については無料時間を3時間まで延長する。それ以降は1時間ごとに100円の加算となる。上限額は24時間まで1000円と



1月中の供用開始に向け建設中の立体駐車場

している。
減免についてはY²ぷらざや新公益施設の窓口に駐車券の減額処理機を設置して、減免の条件などを職員が確認し対応する。
10枚1000円の回数券については、飲食店や商業施設などが当該回数券を購入して顧客などに配布することで、顧客の駐車料金の一部または全部を負担するサービスの提供が可能となる。駅前地区のにぎわい創出に資することにも、Y²ぷらざや公益施設でのイベント主催者を含め、広く一般の方にも販売する。

問 駐車場内では、いろいろな不具合の発生も想定される。管理人が常駐して24時間対応するのか。
答 将来的に指定管理に移行することを想定して条項を定めているが、当面は市直営となる。精算機の遠隔管理を業者に委託することとしており、夜間はインターホンでのやり取りや直接駆けつけて対応することを想定している。

問 降雪時の駐車台数は。
答 立体駐車場(3層4段、2221台)の屋上は除雪しないため閉鎖するが、屋上以外の階は降雪時

雄南のびる館は、廃止後どうなるのか？

も利用可能となる。
平置き部分(72台)については従来通り雪を端に寄せることを想定しているため、冬場の利用可能駐車スペースは減少する。

◆横手市公民館設置条例の一部を改正する条例

問 雄南のびる館の廃止については地域の理解を得ているとのことだが、廃止後はどうなるのか。
答 令和4年3月19日に沼田集落、3月20日に桑ノ木集落にて説明会を行い、主な利用団体であるスポーツ少年団(学童野球)へも説明し、了承を得ている。

今定例会にアスベスト調査、不動産鑑定などにかかる補正予算(433万6千円)を計上しており、その分析結果を見た上で公売、公募などの手続きを進め、活用できる事業者がいれば活用していきたいと考えている。

Table with 2 columns: 総務文教常任委員 (Members) and 賛成 (Supporters). Members listed include 高橋、菅原、大日向、福田、塩田、加藤、本間、井上、高橋. Supporters listed include 樹悦、香輝、誠勉、雄太、利博、忠征、聖悟.

産業建設常任委員会

給水管の道路占用手続きが面倒になるのか？

◆水道事業給水条例の一部改正
問 施行日が令和4年12月1日となっている理由は何か。
答 既存のマンションなどの事業者やそうした建物に居住する方々への周知期間が必要と考えた。
問 これまで市が行っていた道路占用許可書類の作成と更新手続きを本来の姿に戻すということだが、その経緯はどのようなものか。
答 更新の際には個人に通知が届くことになっていたため、手続きを忘れていたことがあった。それを防ぐため、これまで市が書類作成と更新手続きを行っていた。改正後は、水道使用者個人や依頼を受けた水道工事業者が作成した書類を水道事業管理者から道路管理者に申請することになる。

問 この改正により、水道使用者などが水道更新手続きをする際に困惑することはないか。
答 更新手続きに関する書類作成に際して、助言などは引き続き行

うものであり、住民の方への影響はないものと考えている。

ウッドイさんが開発した木材製品ってどんなもの？

◆森林経営管理事業費
問 ウッディさんないが開発した木材製品は、どのような特長を持っているのか。
答 木製のブロック塀で、金具を使っておらず、災害時には燃料資材としても使用できる点がセールスポイントとなっている。この製品をPRすることにより、木材利用の促進につなげていきたい。



薪ストーブやたき火の燃料として使うことができる木製ブロック塀

Table with 2 columns: 産業建設常任委員 (Members) and 賛成 (Supporters). Members listed include 菅原、佐藤、齋藤、加藤、鈴木、小野、播磨、木村. Supporters listed include 正志、誠洋、光司、勝義、勝雄、正伸、博一、清貴.

11人の議員が市政を問う

ココが聞きたい!



9月7～9日に一般質問が行われ、11人の議員が市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

ちょっと教えて！
一般質問ってなあに？



しらとり議員が解説します!

一般質問は、市長の考える市政の在り方（所信といいますが）、市が将来にわたって良い方向に向かう内容なのか、また現在行われている市の施策など行政全般について、市民のためになっているかなどを議員が質すもので、3月、6月、9月、12月に開かれる定例会で行われます。議員1人の質問時間は60分以内です。

- ◆加藤 勝義 議員…地区会議は地区交流センターに機能統合を など
- ◆立身万千子 議員…「こどもの権利条約」を実践する条例制定を など
- ◆井上 忠征 議員…市庁舎における窓口サービスの充実を など
- ◆木村 清貴 議員…公共温泉施設の今後の方向性は
- ◆大日向香輝 議員…横手駅への交通系ICカード設備導入を など
- ◆青山 豊 議員…苦境のJR北上線、市の対応は など
- ◆本間 利博 議員…職員のコンプライアンスについて など
- ◆佐藤 誠洋 議員…産業振興総合計画策定が必要 など
- ◆鈴木 勝雄 議員…農業資材などの高騰への支援対策は など
- ◆土田百合子 議員…災害対策に女性の視点を など
- ◆福田 誠 議員…「メタバース」の活用について など

私たちこんな質問をしました!

一般質問の様子は、インターネットでライブ中継しています。また、一部を横手かまくらFMで生放送するほか、市議会ホームページでは全ての一般質問を録画中継でご覧いただけます。

動画再生の手順

- ①スマートフォン、タブレットなどでQRコードを読み取る
- ②一般質問のページが開いたらYouTubeを再生する



加藤 勝義 議員

かとう かつよし



地区会議は地区交流センターに機能統合を

問 地区会議と地区交流センターは、活動類似組織と見なす。地区会議を廃止し、地区交流センターに機能統合することで地域活動や予算が分かりやすくなり、主体的に活動しやすくなると思いませんか。

答 両組織とも地域課題解決に向けた取り組みを行う組織であり、地区交流センター運営組織の中には、地区会議を組み入れた方が望ましいと考える地区もある。しかし、地区によっては地区会議が必要との声もあるため、地域の実情に即した組織形成を進めていく。

問 地域の人口急減や、小学校統合も進んだ中で、旧小学校区単位での地区会議にこだわる必要はないのではないかと。

答 全地域が交流センター化にはなっていない。到達した段階で見直すことも考えられるが、現時点では考えていない。



地域課題解決に必要な組織とは(増田地区交流センター20周年記念式典)

●大型公共施設建設について

問 コロナ禍における供給網の混乱や、ウクライナ問題での燃料や原材料の不足問題と、資材費の高騰による今後の建設計画への影響を伺う。

答 懸念される資材費の高騰については、上昇が続いている上、工事に関わる人員も不足傾向である。この状況を踏まえ、施設規模や施工方法など総合的に検討をし、事業費や工期を精査していく。

■その他の質問

●街路灯・防犯灯管理費について

立身 万千子 議員

たつみ まちこ



「こどもの権利条約」を実践する条例制定を

問 人口減少問題克服のため「こどもまん中社会」に望ましい支援を強化する施策を進めるに当たり、市が実施してきた子育て支援事業をどう総括しているか。

答 妊娠前から複合的な施策に切れ目なく取り組み、相談体制を充実させてきた。核家族化や就労形態変化などへの対応が課題である。

問 「こどもの権利条約」を実践するため、これまでの「宣言」を踏まえて「条例」制定を提案する。子どもの権利の保障や尊重に関して規定する条例化が必要と考えるかどうか。

答 条例制定はせず「宣言」を理念として子育て支援策を推進する。

●最低賃金引き上げに際しての会計年度任用職員の待遇は

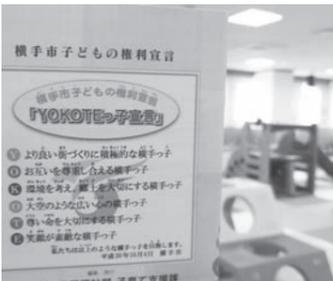
問 10月1日から秋田県の最低賃金は31円引き上げられ、時給は853円になる。現時点での会計

年度任用職員数はどれくらいか。

答 消防と病院を除く会計年度任用職員は1138名で、正職員に対する割合は123.6%となる。学童保育関連、スクールバス関連、また市直営の高齢者施設などで多い状況となっている。

問 引き上げにより報酬の時給単価が最低賃金に満たない場合は。

答 今回該当する見込みの会計年度任用職員27名については最低賃金額を下回らないよう10月1日から来年3月末までの時限的な対応を含め、現在検討中である。



子育て支援策の理念となっている横手市子どもの権利宣言

井上忠征 議員

いのうえ ちゅうせい



市庁舎における窓口サービスの充実を

問 行政のデジタル化による市民の利便性は。

答 市民が庁舎を訪れることなく、より多くの手続きがオンラインでできるように拡充していく。

問 ホームページ上の手続きコンシェルジュ機能の拡大は。

答 機能に見合ったものがあれば拡大を検討していく。行政手続きのオンライン化を進める中で、分かりやすい案内サービスの準備を進める。

問 ワンストップサービスの導入、特におくやみのワンストップサービスは。

答 各地域局ではワンストップで対応できている。本庁舎では順次窓口案内してスムーズに対応している。おくやみワンストップサービスは、スペースに余裕がないため、工夫を重ねて対応していく。

●雪国の環境整備



行政手続きについて、本庁舎では担当窓口を順次案内して対応している



問 雪下ろし事故防止対策は。

答 安全な雪下ろし講習会の開催、安全用具の無料貸し出し、各種広報による注意喚起をして、事故防止に努めている。

●市税について

問 適正公平な課税と徴収のための施策は。

答 課税対象を正確に把握するための各種調査や、市民税未申告調査などにより、公平公正な課税を行っている。収納率向上のために、滞納処分とともに、財産調査の結果で執行停止や欠損もしている。

大日向香輝 議員

おおひなた こうき



横手駅への交通系ICカード設備導入を

問 多くの観光客を呼び込むために、Suicaなどの交通系ICカードが利用できる設備を早急に導入すべきと考える。JR東日本に対しての強い働きかけが必要と思うがどのように考えているか。

答 これまでも折に触れ要望を行ってきた。外から訪れる方々へのサービスインフラとして必要性の高いものであると認識しているため、今後も粘り強く働きかける。●キャッシュレス文化推進目的は

問 当局からの説明ではキャッシュレス文化を推進したい、根拠が、それを何を期待しているのか。



JR横手駅で交通系ICカードが使えるようにするため強い働きかけ



答 スマートフォン決済ポイント還元事業やキャッシュレス決済導入経費の補助、各種証明書発行手数料や施設使用料などへのキャッシュレス決済導入などを実施した。●ふるさと納税額減少の要因は

問 令和3年度は過去最高の寄附額となった自治体が多い中、当市が前年度比減となった要因は何か。

答 主力返礼品の受付数が伸びなかった。令和2年度の大雪災害により、リンゴなどの生産量が大幅に減少し、受付を停止せざるを得なくなるなど苦戦を強いられた。

木村清貴 議員

きむら きよたか



公共温泉施設の今後の方向性は

問 6月定例会一般質問に対する答弁での「方針転換と受け取ってもらって構わない」という発言の意味を伺う。

答 存続を図る施設として、ゆーらく、さくら荘、鶴ヶ池荘。民間譲渡を目指す施設として、さわらび、ゆっふる、ゆとりおん大雄が示され、必要度の高い改修コストも常任委員会でも報告されている。ゆーらくを除く5施設で計4億4445万円となるが、全面改修するのか。部分改修ならばどこまでやるのか。早急に整備方針、改修計画を確定させるべきと思うがどうか。

運営についても、指定管理先、譲渡先を市が責任を持って探すのか。直営も視野に入れているのか。

答 譲渡した6施設のうち3施設が市に返還された事実や施設設備の老朽度合、譲渡施設の経営実態などを踏まえ、今後は一部施設の



存続を図る施設とされながらも高額な改修コストが見込まれる鶴ヶ池荘



経営について市の関与を継続する。全ての改修工事をすくにも実施しなければ経営継続ができないとは判断していない。

市が関与する施設については、設備ごとの改修優先度などに応じた年次的に対応したい。関与を継続しないと判断した施設については改修範囲などについて改めて提案したい。運営については、どちらにしても改修工事や指定管理料、譲渡条件などを含め、可能性のある事業者との協議に全力を尽くす。

青山豊 議員

あおやま ゆたか



苦境のJR北上線、市の対応は

問 国土交通省が立ち上げた、有識者による検討会が地方の赤字鉄道路線問題の提言をまとめた。その後、JR東日本が赤字路線の収支状況を発表した。そのような動きの中で、苦境の続くJR北上線について、市としてどのように対応していくのか。

答 提言に関しては、不採算路線の再編の加速化につながる懸念を持っているが、国からの具体的な動きはない。これまで同様、関係自治体との連携のもとで利用促進に取り組み、維持を図っていきたい。●企業版ふるさと納税について

問 今後の取り組みについて伺う。



北上線の、明日はどっちだ!?



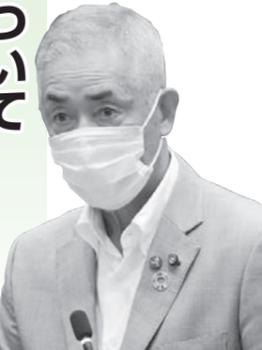
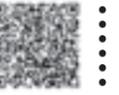
問 ホームページも重要なツールだが、現状の掲載内容からは意気込みを感じない。見直すべきだ。

答 宣伝の姿勢が足りなかったのは反省すべきところだ。リニューアルの方向で考えている。

問 全庁的に取り組むとすれば、目標の設定が必要だ。

本間利博 議員

ほんま としひろ



職員のコンプライアンスについて

問 このところマスコミに報道される職員の不祥事や事件が続いたが、コンプライアンス遵守のための職員研修はどうなっているか。

答 毎月の「コンプライアンス活動」や各種研修を実施しているが、このような取り組みを通じて市民の皆さまに対する信頼回復と再発防止に取り組んでいく。

●横手市地域防災計画について

問 計画には、自分の命は自分で守る観点から自主防災組織の重要性があげられているが、現状はどうなっているか。

答 2021組織あるが、活動を休止している組織もある。あらためて自主防災としての取り組みの方向性を示し、支援していきたい。

問 アウトドア防災を導入して防災に対する裾野を広げ、地域活動に役立てられないか。

答 防災イベントなどに限らず、

楽しみながら防災知識を習得していただけるような情報提供を行う。

●地域づくり活動補助金について

問 一部の場をを除き、非営利団体の事業に対する交付は5回までになっている。中には地域に欠かせない事業もあると考える。市が地域を応援する意味からも、継続した補助金制度を望むがどうか。

答 補助金の制度は変わらないが各団体の取り組みに対し、より多くの市民の参加や協力が得られるように、市として市内外への広報などの支援を工夫していきたい。



金沢孔城館で行われたアウトドア防災体験会

佐藤 誠洋 議員

さとう まことひろ



産業振興総合計画策定が必要

問 若者の働く場の確保と所得アップが重要だ。「ウイズコロナの横手市産業振興総合的プログラム」を策定すべきと考えるがどうか。

答 今はまだ、進めている事業について足元を固め、着実に育てている段階だ。それぞれの産業を強靱にし、先の段階に進めるよう地力をつけていきたい。

●まち・ひと・しごと創生総合戦略は机上の空論では

問 推計よりも人口が大幅に下回っているにもかかわらず、市は自己分析に及第点を付け、横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定をした。このような計画は現実離れしているのではないか。

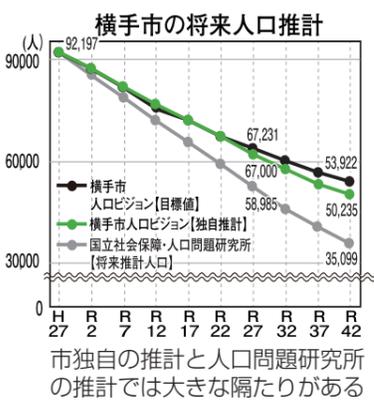
答 厳しい現実と直面し、非常に大きな危機感を持っている。計画の柱の部分はしっかりと意識しながらも、目標達成のための手段としての各種事業は臨機応変に企画

立案し、行政経営の全体最適を図ってきたい。

●新市民会館の建設見直しを

問 新市民会館建設予定地に人口減少対策や若者・若者夫婦定住支援としての住宅建設と民間によるエリア開発を提案するがどうか。

答 建設予定地はアクセスと駐車場という現施設の課題を改善できる好立地だ。数十年先の横手市にとって必要な都市機能をしっかりと更新することは、当市に住みたいと思う人を惹きつける条件の一つであるので理解いただきたい。



横手市の将来人口推計

市独自の推計と人口問題研究所の推計では大きな隔りがある

鈴木 勝雄 議員

すずき かつお



農業資材などの高騰への支援対策は

問 資材などの高騰により生産費が増大し、農家は厳しい状況にある。農家負担の軽減に向けた独自の支援策はあるか。

答 JAなどと高騰対策の協議は行っている。国や県の支援策を確認した上で、今後も意欲的に営農に取り組んでいただけよう次期作に向けた独自支援策を検討したい。

●トップセールスについて

問 市長がJAと共に新宿淀橋市場で行ったトップセールスの成果について問う。

答 JAと市が一緒に行うことで市場の産地に対する信頼が高まる。また、卸、仲卸から市農産品への高い評価と、価格形成について最大限頑張る旨の発言をいただくなど、一定の成果はあったと考える。

●販路拡大支援について

問 九州屋で行われたスイカフェアに出向き消費者との対面販売を



価格高騰する農業資材 肥料も多くが値上げとなった

したとのことだが、横手産品に対する消費者の反応はどうだったか。

答 当市でスイカを栽培していることを知らない方もおり、認知度向上に向けた活動が必要と感じた。

●経済支援対策について

問 プレミアム付商品券を市民1人あたり2セット分準備し、販売することとした。8月31日までの販売数と期待される効果は。

答 準備した数に対する販売割合は61.1%となっている。効果については地域経済の活性化が期待できると考えている。

土田 百合子 議員

つちだ ゆりこ



災害対策に女性の視点を

問 横手市防災会議の女性委員の登用率を30%以上にできないか。

答 市の防災会議委員49名のうち女性委員は10名となっており、女性の割合は20%である。今後地域防災計画に女性の視点が反映されるよう、女性委員の登用を促進していく。

問 内閣府が示した「災害対応力を強化する女性の視点」ガイドラインの活用の徹底について問う。

答 市の避難所運営は、ガイドラインを反映したマニュアルをもとに行っている。避難所開設時や防災訓練では、チェックリストを活用しながら、女性の視点を取り入れた防災対策の推進に努める。

問 防災士資格取得の取り組みは。

答 昨年度は、県の補助金を活用し4名(うち女性1名)の方が防災士資格を取得した。今年度は、各消防団の幹部を中心に資格取得



女性防災士の視点での災害対応力に期待

希望者を募っている。女性防災士については、女性の視点から安全・安心な避難所運営に力を発揮してもらうため、資格取得について啓発していく。

■その他の質問

- 災害対策における「個別避難計画」の作成は
- 人口減少対策に向けた人口の維持・増加のための視点は
- 共生社会における大型公共施設へのトイレ環境設備は
- 公共施設の男性トイレへのサニタリーボックス設置は

市民と議会の懇談会

7月11日、横手市の地域おこし協力隊として活動されている、小原 宗さん(NPO法人 Yokotter 所属)と田谷 慶さん((一社)横手市観光推進機構所属)、またその受入団体の方々と議員との懇談会を開催しました。

地域おこし協力隊のお二人からは、地域おこし協力隊の活動報告とこれからの取り組みについてお話しいただき、その後意見交換をしました。

“想郷クリエイター”として、SNSや Youtube 動画(よこてぼんちーず)で横手の情報を発信しています!

“路駆(ローカル)プロデューサー”として、地域とつながり、みなさんに喜んでもらえる企画を推進します!



活動内容を知っていただくいい機会でした。激励の言葉もいただき、今後の活動の励みになりました。



NPO法人 Yokotter 小原 宗さん

これまで行ってきた活動内容や今後のビジョンを伝えられて良かったです。改めて頑張ろうと思えました。



横手市観光推進機構 田谷 慶さん

8月25日、地域の福祉サービスやボランティア活動など幅広い福祉活動を行っている横手市社会福祉協議会の皆さんとの懇談会を開催しました。

横手市社会福祉協議会の皆さんからは、地域福祉の推進をはじめ、現在取り組んでいるさまざまな事業の内容についてご報告いただき、その後意見交換をしました。

「みんなが主役! みんなでつくる人にやさしいまち横手」に向け、お互いを思いやり支え合う地域づくりに取り組んでいます!



コロナ禍でも、令和3年度には福祉課題解決のための小ネットワーク会議を103もの地区で開催したんですね!



支え合う地域づくりに必要な具体的な提案をいただき、とても有意義な会でした。



横手市社会福祉協議会 会長 小野 タツ子さん

福祉課題の解決に向けて、またぜひ一緒に意見交換できる機会があれば幸いです。



横手市社会福祉協議会 地域福祉課長 佐藤 司さん

地域おこし協力隊のお二人などとの懇談会と社会福祉協議会の皆さんとの懇談会の様子は、それぞれ9月12日、10月24日の「もっと教えて!横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



「市民と議会の懇談会」申込受付中! 横手の未来の“あんなこと”、お住まいの地区の“こんなこと”について議員と話し合ってみませんか。お申込みは横手市議会ホームページもしくは横手市議会事務局(☎:0182-32-2535)へ。



福田 誠 議員

ふくだ まこと



「メタバース」の活用について

問 インターネット上に構築された仮想空間「メタバース」を活用した地方創生における「秋田移住促進メタバース万博」について伺う。

答 秋田県としてのメタバースに関する取り組みは今回が初めてということですが、今後、県からも情報をいただき、市としてどのように活用できるかを探っていく。

問 過去の一般質問で、大学の創設や誘致はとも難しいとの答弁があったが、メタバース上での大学創設について伺う。

答 一自治体がメタバース上で具体的な成果に結び付くような実績を上げることが難しいが、情報収集しながら、分野を限定せずに活用の可能性を探っていく。

●横手市体育館の整備に関する基本計画について

問 横手市体育館協会に加盟する団体を対象に実施された基本計画に

向けたヒアリングの結果について伺う。

答 ヒアリングでは、各競技の利用に対応できているか確認いただき、詳細な設計を検討する上で参考となるご意見をいただいた。

問 市長の考える魅力ある空間、他施設との差別化について伺う。

答 施設そのものの使い勝手を向上させるとともに、人の心を動かす空間・環境を創り出すことで、「横手に行きたい」と思ってもらえるような施設となり、差別化が図れると確信している。



メタバース上のアバター(分身)

議場へようこそ 横手北民生児童委員協議会



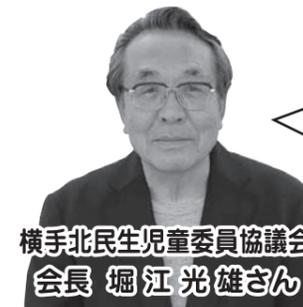
9月7日、横手北民生児童委員協議会から8人の皆さんが、市議会の取り組みを今後の活動の参考とするため、一般質問を傍聴にいらっしゃいました。

一般質問も含め、本会議はだれでも傍聴することができます。市の政策がどのように決められているのかわかることができますよ!



Welcome!

一問一答方式で行われた一般質問は、議員も当局もよく勉強しているのが伝わってきてとても良かったです。議場全体に緊張感がみなぎっていました。



横手北民生児童委員協議会 会長 堀江 光雄さん

「Y8サミット創快横手市議会」11月10日開催決定!

Y8サミット創快横手市議会（以下、Y8サミット）では、市内の全7中学校の代表が中学生議員となり、「横手市中学校創快宣言」を実現しよりよい学校生活を創るため、さまざまな政策提案を行います。



昨年度のY8サミットの様子

Y8サミットに向け議員と**作戦会議**を実施!

提案内容をさらに充実したものとするため、8月1日にY8サミットメンバーと市議会議員が一堂に会し、各校が提案予定の政策の素案について、市議会議員がアドバイスしたり、各校との情報交換をする“作戦会議”を行いました。

僕たち、こんな政策を考えているんです!

こうすればもっといい提案になると思うよ!



Y8サミットは11月10日に本会議場で行われます。中学生議員からどのような提案がされ、市ではどのように生かしていくのか楽しみですね。

※Y8サミットの様子は市議会ホームページでライブ中継や録画映像を配信する予定です。

議会の**主な**動き

7月

- 1日 横手明峰中学校ゲストティーチャー【P18】
- 5日 全員協議会(行政課題説明会)
- 11日 市民と議会の懇談会(横手市観光推進機構、Yokotter)【P17】
- 12日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)、産業建設常任委員会協議会
- 14日 市議会7月臨時会【P3】、厚生常任委員会協議会
- 21日 第1回秋田県市議会議長会定例会
- 22日 宮城県気仙沼市議会行政視察受け入れ
- 27日 厚生常任委員会協議会
- 29日 全員協議会(行政課題説明会)、産業建設常任委員会協議会

8月

- 1日 Y8サミット政策形成懇談会、広報分科会
- 2日 熊本県山鹿市議会行政視察受け入れ
- 5日 山形県尾花沢市議会行政視察受け入れ
- 18日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- 23日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会)、産業建設常任委員会協議会
- 25日 市民と議会の懇談会(横手市社会福祉協議会)【P17】
- 29日 市議会9月定例会(～9月22日)【P2～16】、広報分科会

9月

- 2日 広報分科会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 全員協議会(議案説明会)
- 9日 ICTプロジェクトチーム会議、広報分科会
- 13日 総務文教常任委員会協議会、産業建設常任委員会協議会
- 15日 広報分科会
- 20日 正副委員長会議、議会運営委員会
- 21日 議会改革推進会議
- 28日 奈良県大和郡山市議会行政視察受け入れ
- 29日 広報分科会

議員が学校の先生に!

横手明峰中学校ゲストティーチャー

横手明峰中学校では「ふるさと活性化プロジェクト」として、この横手を持続可能な地域にするために何が出来るかを考える授業を行っています。この取り組みの一環で、5人の議員がゲストティーチャーとなり、横手明峰中学校3年生の皆さんに横手の将来について考えてもらうための授業を7月1日に行いました。

授業では、「教育文化・市民協働」「生活環境」「産業振興」「健康福祉」「建設交通」について、現状や課題などを踏まえた講義や、グループでの話し合い、意見発表が行われました。

「応援人口」とは何かなどについてお話ししました。グループ発表では、「外に向けることも大事だが、まずは中、自分たちがやらないと!」との意見がありました。その後、ある生徒さんから「話を聴いて、横手に残ることも考えようと思った」との感想をいただきうれしかったです。



(青山 豊議員)

廃棄物のリサイクル(原材料としての再利用)への取り組みや、横手の自然環境などについてお話ししました。

総合計画やSDGsについて生徒の皆さんには事前に学んでもらっていたのでスムーズに行うことができ、とても有意義な授業になりました。



(高橋聖悟議員)

産業の課題や、農業従事者減少への対策などについてお話ししました。生徒の皆さんからは、課題解決のための決意が「自分が」「私が」と主体的に述べられたことを大変頼もしく感じました。横手の良いところを認識し、それを強みに産業振興につなげられるようになってほしいです。



(菅原正志議員)

伸び伸び子育てできる環境、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進める政策についてお話ししました。

福祉分野人材不足解消の具体的な提案がありました。少子化・高齢化などの問題をコツコツ解決することがSDGsの実現になるという真剣な意気込みに、私も学ぶことが多かったです。



(立身万千子議員)

横手市のまちづくりのテーマなどについてお話ししました。生徒の皆さんは、授業を通して「人口減少」「高齢化社会」「人手不足」という共通課題を見つけたようでした。グループ発表では、公共施設建設費用抑制の意見などが出されるなど、とても新鮮で貴重な経験となりました。



(加藤勝義副議長)

自分たちができることは積極的に取り組んでいきたいと思いました

自分たちの意見が市の政策に反映されるといいな～

おしゃれな田舎暮らしができれば活性化できるんじゃないかなあ



横手明峰中学校ゲストティーチャーの様子は8月8日の「もっと教えて!横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



青春 キャンパス色

横手明峰
中学校
美術部

「持続可能な美術部を目指して」

横手明峰中学校美術部は1年生～3年生、総勢50人で活動しています。個性豊かで元気な部員が、それぞれの得意分野を認め合いながら制作に励んでいます。また、各展覧会やコンクールへの出品を目標にしたり、美術の授業で学習した内容から発想を深めて工夫したりしながら、創作活動に励むことでレベルアップを図っています。

そんな私たちの合い言葉は「持続可能で愛される美術部」です。学校の行事や生徒会の仕事にも全面的に協力し、親しみやすく、一生懸命頑張る集団を目指しています。そのため、お互いの違いやよさを認めて切磋琢磨する友達が増え、部活動の雰囲気も爽やかです。

これまで支えてくださった先輩や地域の皆様への感謝を忘れず、学習にも部活動にもチャレンジ精神をもって、友人への思いやりを大切に美術の楽しさを全員で追求していきたいと思ひます。

横手明峰中学校美術部前部長 佐野 美羽



横手明峰中学校美術部の皆さん

横手かまくらFMで市議会情報を知ろう!

横手市議会では、市議会の活動や取り組みを議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて！横手市議会」を放送しています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送しています。定例会最終日や臨時会当日の夕方には、審議結果もお知らせしています。

今後の放送予定

★ 11/28 「改選後の1年を振り返って」

昨年10月に改選が行われ、寿松木孝議長・加藤勝義副議長のもと新生「チーム横手市議会」が始動してから1年経過しました。議長・副議長がこの1年を振り返り、また今後の抱負を語ります。どんな話題が飛び出すか、乞うご期待！



寿松木議長

加藤副議長

*これまでの放送内容は
こちらからお聴きください。



好評
放送中

横手かまくら FM 77.4MHz
もっと教えて！横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～



分かりにくい
議会用語などは
こちらで
解説しています



分かりにくい議会用語が他にもございましたら、議会事務局までお知らせ願ひます。

横手市議会公式
Facebookページ



タイムリーに情報発信中
ページへの
いいね！
お待ちしています。

編集後記

木々が色づく季節となりました。紅葉が見頃ですね。

さて、5期目の横手市議会がスタートしてから1年が過ぎました。広報分科会は新しい視点も取り入れながら「わかりやすい議会だより」を目指して編集作業に取り組んでいます。今後とも、ご愛顧くださいませ。(青山 豊)

広報広聴委員会 広報分科会

分科会長 大日向香輝 副分科会長 林 一輝
委員 井上 忠征 加藤 雄太 青山 豊
福田 誠 山形 健二